

環境学委員会 環境思想・環境教育分科会  
環境教育の思想的アプローチ検討小委員会（第25期・第2回）  
議事要旨

日時：2022年1月5日（水）10:00～12:00

会場：オンライン会議

参加者（敬称略・五十音順）：清野未恵子、黒田一雄、重藤さわ子、高田知紀、豊田光世、永井三枝子

オブザーバー：井上真理子、工藤由貴子、日置光久、馬奈木俊介、氷見山幸夫

欠席：蟹江憲史、野田真里、二宮咲子

\*委員9名中6名の出席により会議は成立した。

#### 議題等

（今回はアジアの環境思想をテーマに、高田委員、野田委員の報告予定であったが、野田委員が私事により欠席となり、高田委員のみの研究報告となった。）

#### 1. 委員自己紹介（前回自己紹介していない委員）

永井委員と豊田委員より自己紹介を行った。

#### 2. 高田委員の報告

高田委員が「神々も参加する地域づくりのプロセス」というテーマで、地域の自然災害と神社との関係の解明と、地域づくりのプロセスに神社という地域資源を生かす研究の取り組みについて報告した。

#### 3. 報告に対する質疑応答

高田委員の報告内容をもとに、他の委員との質疑応答を行った。

神社という宗教的場を社会的装置として捉え、人と自然の関係性を環境の中から読み解くことの意義について共有した。同時に、信仰と深く結びつく文化資源を環境教育で生かすには、公共的なフレームで「思想」をどう扱うかという難しい問題を孕むことが議論された。

#### 4. 今後の活動

次回は野田委員の研究報告とする。

今後も議論の時間を十分確保するために、各回1人ずつの研究報告を進めていく。

本委員会での研究報告を進めるなかで展開した議論を生かし、アウトプット（シンポジウム・学術誌への寄稿等）の可能性を検討する。